2026 年 10 月 13 日　第 1.2 版

情　報　公　開　文　書

研究の名称	尿膜管癌における臨床病理学的検討－多施設共同後ろ向き研究による予後調査―
研究代表機関	富山大学附属病院　研究代表者:富山大学学術研究部医学系　腎泌尿器科学講座　教授　北村　寛
研究機関の名称	【機関名】北海道大学病院
研究責任者 （所属・職名および氏名）	【所属・職名】泌尿器科・教授　【氏名】安部　崇重
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。 【研究の目的・方法】 尿膜管がんは、主に膀胱のてっぺん（頂部）にできる非常にまれながんで、膀胱がん全体の 1%未満です。まれな病気のため、診断や治療の標準的な方法がまだ確立されていません。この研究では、全国の多くの医療機関が協力して尿膜管がんの患者さんの情報を集め、病気の経過（予後）に影響する要因を明らかにし、今後の診断・治療の指針づくりに役立てることを目的としています。 各機関の研究担当者が、診療録（カルテ）から必要な情報を過去にさかのぼって調べます。集めた情報は、氏名などを研究用の番号（研究用 ID）に置き換えた上で、研究代表機関である富山大学腎泌尿器科学講座に集めて解析します。 また、手術や生検の際に採取され病院に保管されている病理標本を愛知医科大学医学部病理診断学講座に送り、病理診断の見直し、免疫染色（組織の中のタンパク質を調べる検査）、遺伝子の解析を行います。遺伝子の解析では、がん組織から遺伝子（DNA・RNA）を取り出し、ゲノム（遺伝情報の全体）を網羅的に調べる解析を行う可能性があります。解析の一部を国内の解析機関に委託する場合がありますが、その際も研究用 ID のみで管理します。 【遺伝子解析の結果について】この解析は主に、がん組織に後から生じた遺伝子の変化を調べるものですが、その性質上、生まれつきの遺伝情報が含まれる可能性があります。解析結果は研究段階のもので、診療に用いる検査としての精度が確認されていないため、患者さんやご家族へ個別にお知らせすることは原則としてありません。 【他の機関への提供方法】当院で収集した情報は、研究用 ID のみを記載しパスワードを設定した電子ファイルとして、電子メールで富山大学へ提供します（パスワードは別の電子メールでお知らせします）。病理標本は研究用 ID を付けて、書留・宅配便などの追跡可能な方法で愛知医科大学へ送付します。氏名や住所など、患者さんを直接特定できる情報は提供しません。 新たな検査や来院、費用のご負担はありません。 【研究期間】 実施許可日　～　2030 年 3 月 31 日 【研究対象者】 2005 年 1 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日までの間に、【北海道大学病院】で尿膜管がんと診断され、診療を受けた患者さん。 【研究資金、利益相反の状況】 本研究は、公的研究費または研究代表者が所属する講座の研究費で行い、特定の企業等からの資金提供は受けていません。研究者の利益相反については、各機関の規

	定に従って適切に管理しています。 【個人情報の取扱い】 研究に用いる情報・標本は、氏名・住所など個人を直接特定できる情報を研究用 ID に置き換え、他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工した上で取り扱います。研究用 ID と個人を結びつける対応表は各機関の研究責任者が厳重に管理し、他の機関へは提供しません。遺伝子解析のデータは研究用 ID で管理し、アクセス制限を設けたコンピュータで保管します。 情報（解析結果を含む）は研究成果の最終公表後 10 年間、病理標本は研究成果の最終公表後 5 年間保管し、その後は個人が特定できない状態で適切に廃棄・消去します。 本研究で得られた情報・標本は、将来、尿膜管がんの病気の仕組みや経過に関わる要因、新しい治療の手がかりを調べる関連研究（付随研究）に使わせていただく可能性があります。その場合は、改めて倫理審査委員会の承認を受け、その内容をこのような文書で公開します。 【研究結果の公表の方法】 研究の結果は、学会発表や学術論文で公表します。その際、患者さんを特定できる情報は一切含みません。 【試料・情報の他機関への提供有無】 有 【外国にある者への提供について】 該当なし
②利用又は提供する試料・情報の項目	【試料・情報の項目】 ・診療記録（カルテ）の情報：年齢、性別、身長、体重、全身状態、既往歴、合併症、病名、病期（がんの進行度）、身体所見、血液検査・尿検査の結果、CT・MRI・レントゲンなどの画像所見、病理診断の結果 ・治療と経過の情報：手術の方法、薬物療法などの治療内容、治療に伴う合併症や副作用、再発・進行の有無とその時期、最終確認日とその時点の状態（生存・死亡とその原因など）、緩和医療での管理となった日 ・病理標本（試料）：手術または生検の際に採取され、病院に保管されている病理標本（パラフィン包埋検体、染色済み標本）と、それを用いた病理診断の見直し、免疫染色、遺伝子（DNA・RNA）の解析（ゲノムの網羅的解析を含む）の結果
③利用又は提供を開始する予定日	【利用又は提供を開始する予定日】 当院の研究実施許可日
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	【機関名】北海道大学病院　【機関の長の職名・氏名】病院長　南須原　康行
⑤提供する試料・情報の取得の方法	各機関において、通常の診療の過程で取得された診療情報（診療録）と、手術・生検の際に採取され病院に保管されている病理標本を利用します。本研究のために新たに取得する試料・情報はありません。
⑥利用する者の範囲	別紙「共同研究機関一覧」のとおり（研究代表機関：富山大学　研究代表者　北村寛、病理研究事務局：愛知医科大学　都築　豊徳を含む）。 このほか、遺伝子解析の一部を国内の解析機関に委託する場合があります。委託先は決定後に公開します。

⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	【機関名】北海道大学病院　　【機関の長の職名・氏名】病院長　南須原　康行
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究期間への提供も含む。）に対して、拒否を希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。 お申し出により、今後の診療で不利益を受けることは一切ありません。ただし、お申し出の時点で既に解析や結果の公表が行われている場合は、データを除くことができないことがあります。 電話番号： 011-716-1161（内線 5949） FAX： 011-706-7853 E-mail：takataka@rf6.so-net.ne.jp 担当者所属・氏名：北海道大学病院泌尿器科・教授　安部崇重

別紙　共同研究機関一覧

No.	研究機関名	所属・職名	研究責任者
1	熊本大学	泌尿器科・教授	神波 大己
2	東京慈恵会医科大学附属柏病院	泌尿器科 教授	三木　淳
3	九州大学大学院医学研究院	泌尿器科学分野・准教授 科長代理	塩田　真己
4	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院	泌尿器・後腹膜腫瘍科 科長	増田　均
5	三重大学医学部附属病院	腎泌尿器外科 助教	東　真一郎
6	山口大学医学部附属病院	泌尿器科 教授	白石　晃司
7	千葉大学医学部附属病院	泌尿器科 診療准教授	佐塚智和
8	奈良県立医科大学	泌尿器科・准教授	三宅　牧人
9	愛知県がんセンター	泌尿器科部 部長	小島　崇宏
10	関西医科大学	腎泌尿器外科・講師	佐野　剛視
11	秋田大学大学院医学系研究科	腎泌尿器科学講座、准教授	成田伸太郎
12	島根大学医学部	泌尿器科学講座・教授	和田　耕一郎
13	大分大学医学部附属病院	腎臓外科・泌尿器科 教授	秦　聡孝
14	国立がん研究センター中央病院	泌尿器後腹膜腫瘍科科長	松井喜之
15	愛知医科大学医学部	病理診断学講座 教授	都築豊徳
16	愛媛大学医学部	泌尿器科 准教授	三浦徳宣
17	京都大学大学院医学研究科	泌尿器科学・教授	小林　恭
18	原三信病院	副院長、泌尿器主任部長	横溝　晃
19	弘前大学　大学院医学研究科	泌尿器科学講座 教授	畠山真吾
20	香川大学	医学部泌尿器科学・教授	杉元幹史
21	札幌医科大学	泌尿器科学講座・教授	舛森直哉
22	山形大学医学部	腎泌尿器外科学講座・教授	土谷順彦
23	国立病院機構四国がんセンター	がん診断・治療開発部 部長	橋根勝義
24	東京慈恵会医科大学附属病院	泌尿器科 教授	木村高弘
25	神戸大学医学部附属病院	泌尿器科 教授	三宅　秀明
26	大阪公立大学大学院医学研究科	泌尿器病態学・講師	加藤実
27	福井大学医学部	泌尿器科・教授	寺田直樹
28	兵庫医科大学	泌尿器科 准教授	齊藤　亮一
29	名古屋大学	大学院医学系研究科泌尿器科学 教授	赤松　秀輔
30	琉球大学	腎泌尿器外科学講座 教授	猪口　淳一
31	宮崎大学医学部	泌尿器科学分野 准教授	澤田　篤郎
32	浜松医科大学	泌尿器科学講座・教授	稲元　輝生
33	九州がんセンター	泌尿器・後腹膜腫瘍科 医長	根岸　孝仁
34	旭川医科大学	腎泌尿器外科学講座・教授	沼倉一幸
35	高知大学	医学部泌尿器科学講座 講師	福原秀雄
36	筑波大学	医学医療系腎泌尿器外科 教授	西山博之
37	新潟大学	泌尿器科 教授	大澤崇宏

No.	研究機関名	所属・職名	研究責任者
38	日赤愛知医療センター　名古屋第一病院	泌尿器科 部長	加藤真史
39	北海道大学病院	泌尿器科・教授	安部　崇重
40	徳島大学病院	泌尿器科 教授	古川　順也
41	岐阜大学	泌尿器科・講師	飯沼　光司
42	自治医科大学附属さいたま医療センター	泌尿器科 准教授	鷲野 聡
43	東京科学大学病院	泌尿器科・診療科長	藤井 靖久
44	鹿児島大学病院	泌尿器科・准教授	鑪野秀一
45	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科	泌尿器集学的治療学 助教	八重樫　洋